



憂姦!

おとこじゆく
ななしのいち

成人向

僕の名前は小泉充人!

基本スベツク

38歳独身

職業・・・高校教師。

趣味PCゲーム(ギャルゲー)

彼女いない歴11年

素人童貞・・・

見た目・・・自分では普通だと思っているが、まわりの反応は、デブ、メガネ、天パー・・・将来の夢・・・教え子と結婚すること・・・

しかし僕にもようやく運がまわってきた

数年前からとある女子高に赴任すると

男性教師の少ない学校との理由で

学年生活指導まで任されるまでになった!

そして今年から担当する学年に

僕の好みにドストライクの美少女に

出会うこととなる。

まさにこれぞ我が運命!

その美少女が。。。。

この平○憂ちゃんだ!

成績優秀!

姉思いの性格良し!

そしてなにより僕の校内美少女ランキング!

ダントツの一位!

まるで美少女ゲームの主人公!

非の打ちどころのない理想の美少女だ!



話は変わるが

この僕のパソコンヲタタのスキルと
教師である立場を使えば……

教室に盗撮用カメラを設置することも
造作もない！

さて今日の収穫は……

おおおおおっ！

ばっちり映っている！

何度も試行錯誤して画角を調整したからな！

どれどれ……

おおっっ！

ちようど着替えのシーンだ！

これは午後の体育の授業前か！

さあ……それでは早速……

今日も憂ちゃんをオカズに
セズリタイムだ！

ハアハア
ハアハア

小柄ながらむしやぶりつきたくなるような

オッパイ！

チ○ポをこすりつけたくなるような

ハアハア
ハアハア

ハアハア
ハアハア

ああ……憂ちゃん……！

相変わらず可愛いな……

着やせするのかな……？

プリっとしたお尻……

ハアハア
ハアハア

おおおおおおおっ！

「憂ちゃんのオマパイ！」

憂ちゃんのお尻。。。！！

憂ちゃん！

僕だけの憂ちゃんっっ！

イクッ！

もうイクッ！

ニコ

おおおおおおっ！

イクッ！

イクッ！

イクウウウウウウウウウウウウウウウウッ！

ハアハア
ハアハア

ニコ

あ。。。ああ。。。。

いつちやっただ。。。。

ハアハア
ハアハア

ハアハア
ハアハア

ど

ど

ハアハア
ハアハア

ハアハア
ハアハア

クッ

クッ

ハアハア
ハアハア

失礼します！

「おおっ平沢さん、待ってたよ！」

先生何か御用ですか？

「あ……ああ……」

「用事はないんだが……」

「ああ……そうそう……」

「君のお姉さん大学に合格したそうじゃないか！」

「けいおん部のみんなと同じ第一志望に！」

そうなんですよ！

ありがとうございます！

お姉ちゃんもとっても喜んでいて！

私も嬉しいです！

「それはよかった！」

『お……』

「それはそうと平沢さん……」

「ある人物からこんな動画が送られてきたんだが！」

動画ですか？

「ウムッ！」

「これがその動画なんだが……」

な・何ですコレ！？

「先生も信じたくないんだが……」

「この性行為をしている娘なんだが……」

「君にそっくりなんだ！」

「どうなんだ!？」

「私じゃありません！」

「ち・違います！」

「絶対に私じゃありません！」

もちろんこれはフェイク動画だ！

そうこれは僕がAI技術を使って
巷に配信しているエロ動画に
教師の立場を使い憂ちゃんの顔の素材を
手に入ればめ込んで作ったものだ……
作った僕も驚きだが、
最近の技術でデジタル処理したら
まるで憂ちゃんの本人のセックスシーンが
できあがった……

「そうか……先生はその言葉信じよう！」

「だが……！」

「キミのお姉さん……進学決まっていたんだよね！」

「もしこれが本当だったら……」

「お姉さんの進学に影響がでるかもしれない！」

「大丈夫！」

「このことを知っているのはまだ僕だけだから！」

このままじゃお姉ちゃんに……
迷惑がかかっちゃう！

先生どうすれば……
助けてください！

「わかったなんとかしよう！」

セックスだなんて・・・!!

「それでは君はまだ処女なんだな!?!」

「こんなことはしたくなかったんだが・・・」

「僕が直接君が処女かどうか確認する」

「服を脱いで裸になりたまえ!」

「今ここでですか!?!」

「そうだ君の身の潔白を証明するためのだ!」

「どうする平沢さん!?!」

「身の潔白が証明されない限り・・・」

「この動画を教育委員会に提出しなければならぬ!」

「僕は教師だからね!」

「一人の生徒だけひいきするわけにはいかないんだ!」

「そうなるとお姉さんは困るよね・・・」

ううう・・・

お姉ちゃんに迷惑は
かけられない・・・

これでいいですか!?!

「わかってくれたか!」

ハアハア
ハアハア

「うん・・・いいだろう!」

「それでは検査をはじめろぞ!」

「君は素直でいい娘だ!」

ひっ!

「僕も本当はこんなことしたくないんだ!」

「ううね・・・」

「わかるだる君の潔白を証明するためなんだ!」

ハアハア
ハアハア

「ううう」してるんだよ!」

ハアハア
ハアハア

ハアハア
ハアハア

「うん・・・いいだろう!」

「それでは検査をはじめろぞ!」

あああああっ!

「君の身体隅々まで調べ上げてあげるよ!」

な・・・何するんですか!

ムニク

ムニク

ハアハア
ハアハア

ハアハア
ハアハア

い・い・い・い・い

こんなのセクハラです！

「セクハラ？」

「何言ってるんですー」

「これはれっきとした検査なんだよー」

「んんん？」

「乳首が堅くなったぞー」

「もしかして平沢さん……」

「この検査は平沢さんのおっぱいを触るだけだよー」

「そんなこと……」

「おじだんな娘だー」

「こんなことで感じてくるのかー」

「君みだいな娘がー」

「これは不純異性行為の疑いがあるなー」

不純異性行為だなんて……

「生娘とは思えない感度の良さだなー」

「これで男どもをたぶらかしてるんじゃないのかー？」

「むっむっまなく検査する必要があるらうだなー」

ハアハア
ハアハア

「さあ最終チェックはここだー」

「そう君の一番大事なところー」

「オマ○」だー！

「これも君と君のお姉さんのためなんだよー」

「お姉さんを不幸にはできなからうっー」

「指で払げて膣内を確認する必要があるなー」

「んれんれ……」

「おおおおお……よく見えるぞー」

「これが平沢さんのオマ○」かー」

い・い・い・い・い

「そんなところ……」

「おおおおお……」

「濡れてるー」

「濡れてるぞおおっ」

「オマ○」が愛液でグチヨグチヨだー！

「見ないでください……」

「見られて感じているのかな！？」

「ますます怪しくなってきたぞー」

「んんん平沢さんあまりにも濡れすぎて……」

「膣内までよく確認できないなー」

グズッ

グズッ

グズッ

グズッ

『本当はやりたくなかったんだが。』

『これは最後の手段をとるしかないな！』

最後の手段……!?

な・何をするんですか!?

ズ

『何をやるかってー』

『男と女が裸でいる。』

『賢い君ならわかるだろー』

ひっっ……まさか……!

『そのままかだよ！』

『平沢さん……君が処女がどうか。』

『セックスをするんだよ！』

『これが一番わかりやすい方法なんだよ！』

セ・セックス……!?

『さあ挿入れるよ……平沢さん！』

しゃっっ！

やめてくださいっ！

いやですっ！

ああ……っ！

私処女です！

本当に処女です！

不純異性行為なんてしてません！

信じてください！

お願いしますっ！

『そんなこと言っているのかい!?!』

『君のせいでお姉さんの進学がパーになるぞ！』

……

『君には選択肢はないんだよ！』

そんな……!

「おらあああああああああつ！」

「一気に挿入れてやるっつ！」

いやっ！

あああああつ！

いやっ！

いやあああああああつ！



『おおおっ挿入った。』

『僕の手○ポが根元までズッポリと。』

「んー？多少の出血があるな。』

『おおっやっぱり処女だったか！』

『よかったな平沢さん！』

『これで君の潔白が証明されたぞ！』



いやあああああああつ！

『これで僕のモノだ！』

抜いてください！

『憂ちゃんの処女が僕のモノに！』

お願いします！

『これで憂ちゃんは僕のモノだ！』

抜いてくださいっ！

『僕だけの憂ちゃん！』

『僕だけの憂ちゃん！』



『あああああつ』

Rec

先生どういことなんですか!?

も・もしかして・
騙したんですか!?

「今頃気づいたのかい!」

「そうさ!あの動画も僕が作った物さ!」

「全部狂言だったのさ!」

「君を僕のモノにするためのね!」

「因みに・・・」

「この様子は定点カメラで録画中だから!」

「他言したらどうなるか・・・」

「賢い君ならわかるよね!?!」

いやっ!

いやっ!

ひびくっ!

ズツ

「さあ憂ちゃん一緒に愛し合おうっ!」

ああ・・・ああっ!

「あああああ憂ちゃん!」

「憂ちゃんッ!」

「憂ちゃんッ!」

いやあああああああ!

ハアハア
ハアハア

ハアハア
ハアハア

ハアハア
ハアハア

ハアハア
ハアハア

ハアハア
ハアハア

15.1

「憂ちゃんは僕のモノだああああああっ！」

ああ・・・ああっ！

「おおおおおおおっ！」

ハアハア
ハアハア

「これが夢にまで見た憂ちゃんとのセックス！」

「オラッ！」

ハアハア
ハアハア

しゃっ！

しゃっ！

「オラッ！」

ハアハア
ハアハア

「超気持ちさらさらっ！」

ズン

ズン

ハアハア
ハアハア

「これが憂ちゃんのオマ○！」

「憂ちゃんの処女マ○！」

「憂ちゃんとセックス！」

「セックス！」

「ああっ気持ちいい！」

「気持ちいい！」

ハアハア
ハアハア

「憂ちゃんの処女マ○！」

いやああああああっ！

ああああああっ！

「憂ちゃんの処女マ○！」

「最高に気持ちさらさらっ！」

ズン

もう許してください!

「気持ちいいんだね僕とのセックスが!」

「それじゃ・・・」

「今度は下から突きあげてあげるよ!」

「もっともっと犯してあげるよ!」

「いくよ! 憂ちゃん!」

「どうだい憂ちゃん!」

「下から突きあげられるセックスは!」

「いやなんです!」

「膣内の奥までぐんぐんぐんぐん!」

「僕のチ○ポが子宮までぐんぐんぐんぐん!」

本当にいやなんです!

お願いしますっつ!

「んん?! まったく強情な口だ・・・」

「ごっちも塞がりでまっしかないな!」

んっ!

んっ!

んっ!

んっ!

(キスだってしたことなかったのに!)

(ファーストキスなのに・・・)

んっ!

んっ!

(私の大切なファーストキスなのに!)

「あああああつ」

ハアハア
ハアハア

「憂ちゃんの唇奪ってやった!」

いやっ!

ハアハア
ハアハア

「これで憂ちゃんのすべては僕のモノだ!」

あああああつ!

「もしかしてファーストキス!?!」

ハアハア
ハアハア

「キスも初めてだったの!?!」

いやっ!

「ああああ憂ちゃん!」

ハアハア
ハアハア

「僕だけの憂ちゃん!」

いやっ!

「ああああ僕だけの憂ちゃん!」

「初めてのキスだったんだね!」

「好きだよ憂ちゃんっ!」

「憂ちゃんっ!」

いやあああああつ!

ハアハア
ハアハア

「憂ちゃんの初めてはすべて奪ってやった!」

ハアハア
ハアハア

「ああああ。。。。いつちやったよ。。。」

ああ。。。

ハアハア
ハアハア

ハアハア
ハアハア

「憂ちゃんの膣内でいつちやったよ。。。」

そ。。そんな。。!

ハアハア
ハアハア

。。。。や。。。

ハアハア
ハアハア

「いっぱい射精たよ!」

あああああ。。。。

「いっぱい射精たよ。。憂ちゃん!」

ハアハア
ハアハア

「どっだら憂ちゃん。。僕との初体験は!?!」

ハアハア
ハアハア

「憂ちゃん膣内に収まりきらないくらい。。。」

「どっでも気持ちよかったらう?」

「ああああ僕だけの憂ちゃん!」

ハアハア
ハアハア

「僕だけの憂ちゃん!」

う。。。。

ハアハア
ハアハア

う。。。。

「僕だけの憂ちゃん!」

ハアハア
ハアハア

ハアハア
ハアハア

春になり、

お姉ちゃんは無事大学へ

進学することができました。

私は三年生になります。

そして弱みを握られ

逆らうことのできない私は・・・

「あああああ……でも気持ちいいよー」

「あああっ憂ちゃんのパイズリー」

うう……

「おおおっいいねっ」

「身体は華奢なのに……」

「オッパイは豊満だよねー」

ハアハア
ハアハア

ハアハア
ハアハア

ハアハア
ハアハア

ハアハア
ハアハア

ハアハア
ハアハア

「憂ちゃんのやわらかいオッパイがー」

「ああ……っ」

「僕の手○ポを包みこんでっー」

ムキキ

「憂ちゃん上手くなったねー」

「パイズリも上手くなったねー」

「ああっっ気持ちいいよー」

「気持ちいいよー」

「憂ちゃんのパイズリ気持ちいいよー」

ハアハア
ハアハア

ハアハア
ハアハア

ハアハア
ハアハア

ハアハア
ハアハア

ハアハア
ハアハア

「もっ……もっ……ちやうど……」

「最後はその小さなお口で搾り……てくれるかい！」

「んん……っ！」

「ん……っ！」

「ん……っ！」

「おちんちん……を……」

「フエラチオだ！」

「おおおおおおおっ！」

「もっと奥まで挿入している……？」

「もっと根本まで……」

「んぐ……っ！」

ゴボッ

「んぐ……っ！」

「僕のチ○ポを根元まで……」

「おおおおおおおっ！」

「ああああ……憂ちゃん……小さな口が僕のチ○ポを……」

「おお……おお……」

「憂ちゃんの……フエラチオ！」

「んぐ……っ！」

シメッ

「んぐ……っ！」

シメッ

「んぐ……っ！」

「気持ちいい……」

「んぐ……っ！」

「気持ちいい……」

「気持ちいい……」

「んぐ……っ！」

シメッ

「超気持ちいい……」

『ああ……憂ちゃんのフェロが気持ちよすぎで……』

『も……もう……いっちゃったよ！』

『一滴残らず精液を吸い尽くすんだよ！』

『さあわかってるよね！』

『さあ憂ちゃん……』

『次はどうするんだっけ！』

『僕の大事な子種汁だ！』

『一滴残らず飲み込むんだよ！』

『そう……いい娘だ！』

『目をあけて見せてみて！』

『おおおっ一滴残らず飲み込んだようだね！』

ああ……ああああ……

『どうだ！？美味しかったかい僕の精液は！？』

『美味しかっただろう！』

あ……ああ……

『裏じゃんぞんぞんぞんクワイマックスだ！』

『ぞあ次はどうするんだいー？』

うううう

ヌア

『ぞうの…僕の上の…』

『自ら挿入れるんだ！』

ヌア

ハアハア

『先っぽが挿入^はいった！』

『そうだ…あああいいねっ！』

うううう

ヌア

『ぞあ二気に挿入れるんだっ！』

『セックス開始だっつ！』

ううう

ヌア

ヌア

あああああああああああつ！

ああ…あああああ

ヌア

ヌア

「ほら腰を振るんだ！」

「しっかりと腰をふるんだ！」

「そっそもっともっとだ！」

あっ！

ハアハア
ハアハア

「もっと激しくっっっ！」

ああんっ！

「そっそもっともっとだっ！」

ハアハア
ハアハア

ハアハア
ハアハア

ああんっ！

「その調子だっ！」

「いいぞ憂ちゃん！」

ああ・・・っ

「もっと淫らにっっ！」

ハアハア
ハアハア

「腰を振るんだ！」

「そっだ憂ちゃん！」

ハアハア
ハアハア

「気持ちいいからっっ！」

「セックスは気持ちいいからっっ！」

「自ら腰を振るセックスは気持ちいいからっっ！」

ああんっ！

「自ら求めるセックスは！」

「どっだ気持ちいいだろっっっっ！」

ハアハア
ハアハア

ああんっ！

「僕とのセックスは気持ちいいだろっっっっ！」

ハアハア
ハアハア

「おおおおおおおっ！」

ああんっ！

「もっともっとと愛しておっっ！」

「締まるっ！」

ハアハア
ハアハア

「締まるっっっっっっ！」

「搾りよむわんわんっ！」

ああんっ！

「うううね憂ちゃん！」

ハアハア
ハアハア

!?

「憂ちゃんのおまんこ」に搾りよむわんわんっ！」

ハアハア
ハアハア

あっ！

ハアハア
ハアハア

ああんっ！

ハアハア
ハアハア

「僕もとっても気持ちいいよー！」

ああんっ！

「ああああ……」

「憂ちゃんとのセックスが気持ち良すぎて……」

「憂ちゃん……」

ああ……っ

ハアハア
ハアハア

「もうイヤっせやらそっだー！」

ハアハア
ハアハア

「射精していいよねー！」

ハアハア
ハアハア

「このまま射精してもいいよねー！」

「憂ちゃんの膣内で射精してもいいよねー！」

ああ……っ

ハアハア
ハアハア

なかだし
「膣内射精なんて絶対にイヤッ！」

ハアハア
ハアハア

なかだ
「これ以上膣内で射精されちゃったら・・・」

ハアハア
ハアハア

ハアハア
ハアハア

で
「妊娠きちゃうかもしれない・・・」

「でも断ったりしたら・・・」

「この痴態をばらされたりしたら・・・」

ハアハア
ハアハア

ハアハア
ハアハア

だ
「射精してください・・・!!」

「ん!・・・なんだって!?!」

「声が小さくて聞こえないよ!」

「もっと大きな声で心をこめて言ってくれないかな!」

くううう・・・

だ
「射精してくださいっ!!」

なか
「私の膣内に射精して・・・ください!」

なか
「先生の精液を私の膣内に・・・!!」

なか
「ありったけの精液を私の膣内に射精してくださいっ!!」

「いいんだね憂ちゃん!」

ああ・・・っ!!

「望みどおりこのまま射精すよ!」

あああああああつ!!

ナニ

なか
「憂ちゃんの膣内で射精しちゃっつー!!」



うっっっ!

「うおおおおおおおっ!」

あっ!

ハアハア
ハアハア

あっ!

ハアハア
ハアハア

「射精すよっ!」

「射精すよっ!」

くっ...

ああんっ!

「ありったけの精液ッ!」

ハアハア
ハアハア

ハアハア
ハアハア

「憂ちゃんの膣内にぶちまけるよおおおおおっ!」

ああ...

ハアハア
ハアハア



「うおおおおおおおっ!」

「イクッ!」

「イクッッ!」

「イクッッ!」

「イクウウッッ!」

イクッッ

「イクウウウウウウウウウウウッ!」

ハアハア
ハアハア

「ああ……ああああ……」

「いっっちゃった！」

ああ……あ……

あ……ああ……

「いっっちゃった！」

「いっっちゃったよ……」

「憂ちゃんの膣内でいっっちゃったよ！」

ハアハア
ハアハア
ハアハア

「ほら見てごらん！」

「いっぱい射精たよ！」

「収まりきらない精液が……」

「逆流して溢れ出てるよー！」

ハアハア
ハアハア
ハアハア

「どうだい憂ちゃん!?!」

「膣内で射精してもらった気分は!?!」

(ダメツツ……)

(い……言えない!)

はい……嬉しいです……

(い……いやだなんて言えない!)

(もし先生とのこんな関係……)

「そうかいそれはよかった!」

「ほら見てっちゃん! 僕のチ○ポ!」

う……う……

く……く……

「まだこんなにビンビンだよ!」

「まだまだだっつばら憂ちゃんとセックスできるよ!」

「どうだい嬉しいだろう!」

は……はい……

「まだまだお楽しみはこれからだよ!」

「もっともっと楽しもうっ!」

「おおおおおっ!」

「おっおっおっおっおっ!」

ひっっ!

「オラッ!」

ひ……ひ……

「オアラアアアッ!」

あ……あ……

「オランダ!」

あああああっ!

『安心して憂ちゃん！』

『僕の精液はたっぷりあるから！』

は
『ほぅら挿入いった！』

『ワンワンスタイルでセックスだあああ！』

うっ！

くっ...

『うんぬん...』

『うんぬん...』

『どうだい憂ちゃん！』

『お尻をこっちに突き出して！』

あっ！

『今度は立ちバックでセックスだ！』

『後ろからやられる気分は！』

『気持ちいいだろっ！』

『どっっても気持ちいいだろっ！』

『腰砕けになるまで愛しあおうっ！』

ああんっ！

ああっ！

ああ...っ

ストク

「ああああ……とってもよかったよ。」

「おおっ……憂ちゃんのオマ○から……」

『今日の憂ちゃんとのセックス！』

「僕の精液が逆流している！」

「だっせん射精^だしちゃったからね！」

うう……また膈内で……

う……や……

『憂ちゃん……うさおねー』

『さっら膈内^{なかだし}射精してもいいよね……』

「だって憂ちゃんは僕だけのモノなんだもん！」

『きんぐは僕の精液でらっぽうだー！』

『もし妊娠^でしちゃっても大丈夫！』

『僕が責任をとるからー！』

『さっしただけ結婚^してー！』

『毎日バラ色の生活がはじまるよー！』

あれから「一年が経ち」。。。

私は無事〇校を卒業することができました。

お姉ちゃんと同じ大学に進学することが

私の目標でしたが。。。。

それは叶わぬ結果となりました。

ハアハア
ハアハア

「憂ちゃん卒業おめでとー!」

ハアハア
ハアハア

ハアハア
ハアハア

「もう僕達の間を阻む物は何もないよ!」

「なんて幸せな日々なんだ!」

「思う存分抱き合おう!」

「思う存分愛し合おう!」

「それに憂ちゃん。。。」

(助けて。。)

「また楽しみが増えるね。。。」

ハアハア
ハアハア

ハアハア
ハアハア

「ずいぶん大きくなったね!」

ハアハア
ハアハア

「憂ちゃんのお腹!」

「来月には生まれるかな。。。」

ハアハア
ハアハア

うっっ!

(助けて。。お姉ちゃん。。!)

「僕達の愛の結晶だ!」

ハアハア
ハアハア

ハアハア
ハアハア

「たまんないよ!憂ちゃん!」

ハアハア
ハアハア

「赤ちゃんを孕んだ君も魅力的だよ!」

ハアハア
ハアハア

「ほつら憂ちゃん！」

「まだまだお楽しみは終わらなびよ！」

(いっ・しゃっっ！)

ハアハア
ハアハア

(やめてっ！)

「まだまだいっぱい射精してあげるからね！」

(もっ・もっやめてっ！)

ハアハア
ハアハア

ハアハア
ハアハア

「今夜も精液が尽きるまで！」

「^だ射精しつづけてあげるからね」

(やめてっ！)

ハアハア
ハアハア

ズッ

「おおっ……！」

(許してっ！)

「たままないよ！憂ちゃん！」

ハアハア
ハアハア

「おおおおっ！」

「^だまた射精ちやいそうだ……！」

(許してっ！)

「^だ射精すよ！憂ちゃん！」

「^だ今夜も射精してあげるよ！」

(もう許してええええええええっ！)

「^だいっぱい射精してあげるよ！」

「^だ射精すよっ！」

「^だ何度でも射精すよっ！」

ハアハア
ハアハア

ハアハア
ハアハア

「^だ射精すよっ！」

「^だ射精すよおおおおおおおっ！」

ハアハア
ハアハア

ズッ

『おおおおおっ！』

『またいつちやうよっ！』

『イクツツ！』

(汚さないで！)

『あああああっ！イクツツ！』

ハアハア
ハアハア

(いやあっ！)

ハアハア
ハアハア

(汚さないでっ！)

『イクツツ！』

ハアハア
ハアハア

『イクツツ！』

『イクツツ！』

(汚さないでええええええっ！)

『イクツツ！』

『またイクウウウウウウウウウウウウウウウウツツ！』

オオオオ

オオオオ

「イクウウウウウウウウウウツッ！」

(しゃっっ！)

(射精さないでっ！)

「うおおおおおおおおおつ！」

「^で射精るっ！」

ド
ド
ド

「^で射精るっ！」

(射精さないでっ！)

「^でまだ射精るっ！」

(膣内で射精さないでっ！)

「^でまだ射精るっ！」

(もう射精さないでっ！)

「射精がとらまらないいらららららっ！」

ハアハア
ハアハア

「^で射精たよっ！」

(これ以上・・・射精さないで・・・)

「^でまた射精たよっ！」

「^で射精たよおおっ！」

ハアハア
ハアハア

ど
ど
ど

ど
ど
ど

ど
ど
ど

「あああああっ僕だけの憂ちゃん！」

「僕だけの憂ちゃん。。。」

ハアハア
ハアハア

ハアハア
ハアハア



(これ以上・・・私を汚さないで・・・！)

(もう許して・・・)

ハアハア
ハアハア

ハアハア
ハアハア

ハアハア
ハアハア

ハアハア
ハアハア

ハアハア
ハアハア

ハアハア
ハアハア

ハアハア
ハアハア

クワン

クワン

どろどろ

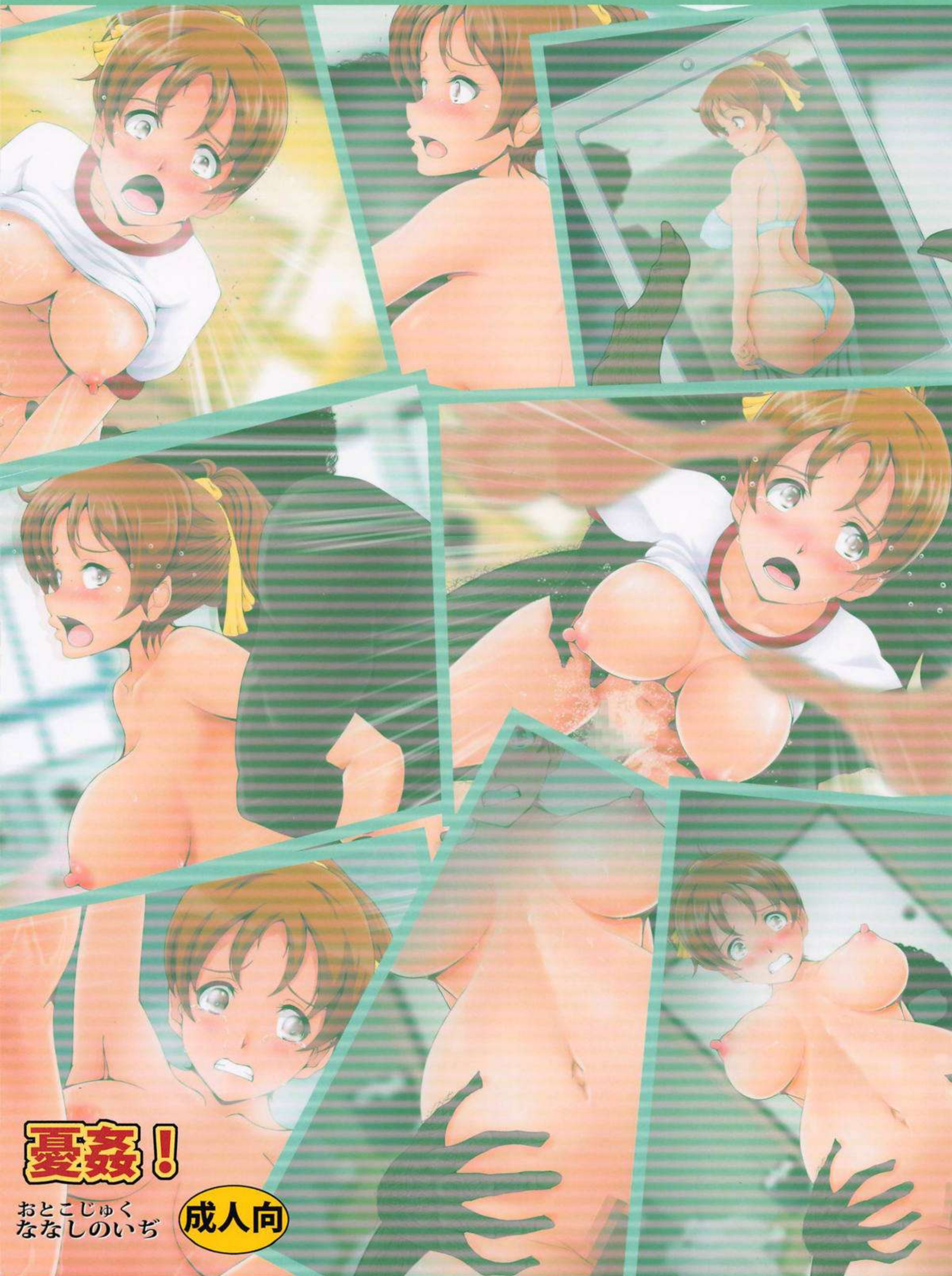
どろどろ

どろどろ

どろどろ

奥付
「憂姦！」

発行日 2021年7月22日
発行 おとこじゅく
発行者 ななしのいぢ
印刷 大陽出版株式会社様
連絡先 bunotumikokia@yahoo.co.jp
18歳未満に方の購入を禁じます



憂姦!

おとこじゆく
ななしのいち

成人向